

(コメント) 大飯発電所4号機の定格熱出力一定運転開始について

平成24年7月25日
関西電力株式会社
取締役社長 八木 誠

大飯発電所4号機は、本日1時00分に定格熱出力一定運転を開始しました。
今回の再稼動にあたり、一方ならぬご尽力を賜りました国、福井県、おおい町、ならびに各自治体の皆さまに、心から御礼を申し上げます。

大飯発電所3、4号機については、引き続き、安全を最優先に細心の注意で運転・保全に万全を期し、安全・安定運転に全力で取り組んでまいります。

エネルギー自給率が4%と極めて低いわが国にとって、海外から輸入する化石燃料に過度に依存しないエネルギーミックスが重要であり、原子力は安全確保を大前提に、「エネルギーセキュリティ」や「地球温暖化問題への対応」、「経済性」の観点から、大変重要な電源です。

今後も、本年4月9日に国にご報告した「更なる安全性・信頼性向上のための対策の実施計画」に着実に取り組むとともに、国の規制の枠組みにとらわれることなく、安全性向上のための必要な対策を自主的かつ継続的に実施してまいります。

当社としては、原子力について「安全の取組みに終わりはない」ことを肝に銘じ、あらゆる経営資源を投入し、徹底的な安全対策を行うことで、世界最高水準の安全性を確保すべく努力してまいります。

あわせて、広域的な停電や計画停電を回避し、電力の安全・安定供給ができるよう、引き続き、供給力確保に全力を尽くすとともに、当社グループの総力を挙げて、電力の需給安定に向けた取組みを推進してまいります。

以 上